

# 校長室だより

6月号

藍住西小学校



## 一学期の折り返しを迎えて



— 学習の充実に向けて —

今年の梅雨入りはいつ？ 去年は、統計史上最も早い梅雨入りで5月21日でした。旧暦で6月を「水無月」と言いますが、学校周辺の田にも水が張られ、大地が潤う時期を迎えた感じがします。ちなみに、「水無月」の語源や由来についてですが、水無月の「無」は、「ない」という意味ではなく、「の」という意味です。つまり、「水の月」ということのように。

さて、早いもので1学期も折り返しの時期となりました。これまでそれぞれの学年では、様々な活動を行ってきました。1・2年生は、アサガオやミニトマトの種を植え育てています。子どもたちは毎朝水やりを行い、花が咲くのを心待ちにしています。3年生の理科では、ホウセンカを育て、社会科の学習では町探検に出かけています。講師先生をお招きしてリコーダー講習会も開催しました。4年生は、総合的な学習での福祉体験活動やタブレットを使った授業の充実に取り組んでいます。5年生は、「藍建」や「藍苗植え」を行い、伝統文化である「藍染め」に親しむ活動が始まりました。また、牟岐少年自然の家宿泊学習も目前に迫ってきています。6年生は最高学年として学校の中心的役割で頑張っています。先日行われた「1年生を迎える会」では、計画や運営等、6年生にとっても内容のあるものとなりました。

5月27日（金）には、今年度初めての授業参観を実施しました。密を避けるという趣旨で、人数制限や分散による形をとらせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。子どもたちは、保護者の皆さまにご覧いただき、いつも以上に張り切った様子で、とても生き生きと授業に臨んでいました。大変お世話になりました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況にあります。油断をすることなく感染症の予防をしっかりと行っていきたいと考えています。ご家庭でも引き続き、感染症予防をお願いいたします。今後とも、ご協力よろしくをお願いいたします。

藍住西小学校 コミュニティスクール（学校運営協議会）がスタートしました。

話し合いでは、安全・安心なまちづくりや挨拶について、共通の話題としてあがりました。

- ・挨拶は増えてきている。学校近辺だけでなく、自分の住んでいる近所でも広めてほしい…。
- ・不審者と勘違いされる場合があるので、大人から声をかけることが少なくなってきたのでは…。
- ・子どもたちから挨拶をもらおうと、勇気がわく。だから大人からも積極的に挨拶している。
- ・学校での挨拶だけではなく、家庭で挨拶を交わすのが大切。
- ・登下校時の道路の歩き方。交通安全のルールをしっかりと守る。大人も子どもの模範となるように！（広がらずに歩く。とび出しをしない、雨天時の傘のさし方等。） ※関係機関の見守り活動
- ・西グラウンドへの子どもを送迎について。道路ではなくグラウンド内での乗降を。安全確認！ 等

※コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

保護者や地域の方々が一定の権限を持って、学校運営に参画することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子ども達の健全育成や学校運営の改善に取り組むことを目的としている。

